

『新しい認知症観』について



認知症は、誰もがなるかもしれない。症状の現れ方や進行具合は人それぞれだけど、偏った認識で、医療サービスや社会からのサポートに対して消極的になって、診断や治療の遅れに繋がっちゃうことが実際にはあるんだよね。

何かがおかしい・・・と思っても、「認知症の診断がつくのがこわい」という恐れから、病院に行くのをためらってしまう・・・という方もいるみたいだね。



認知症って決して他人ごとではないし、自分ごととして考える時代がきているんだ。国としても新しく、認知症に関する法律（共生社会の実現を推進するための認知症基本法）を施行して、認知症になっても、自分らしく、希望を持って暮らせる社会の実現をめざしているんだ。これは世界でも日本だけなんだ。

なるほど。そのなかに、新しい認知症観ってのがあるんだね。どういうことなんだろう。



新しい認知症観とは、「認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等と繋がりながら、希望をもって自分らしくくらし続けることができるという考え方」を言うんだ。
令和6年9月2日 認知症施策推進関係者会議（第6回）認知症施策推進基本計画（案）より

これまでの、古い認知症観に縛られず、一人ひとりが新しい認知症観を持つようになれば、偏見や誤解が減る事も期待できるよね。認知症のことを周囲にも伝えやすくなるかな。先入観を取り払って、認知症のことを正しく知って、新しい認知症観を持つことが大切なんだね。



認知症と診断されたからといって何もできなくなるわけではなくって、経験談を語ったり、相談役として活躍している方もいるんだよ。
書籍や動画など色々と、体験談なども知ることできるから、一度みてみると良いかもね。

ちょっと一息。脳トレ



ことわざ穴うめクイズ □に入る言葉を選んで、ことわざを完成させましょう。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 後悔□に立たず | 2 好きこそ物の□□なれ |
| ①後 ②横 ③先 | ①立派 ②上手 ③巧み |
| 3 犬も歩けば□にあたる。 | |
| ①猫 ②棒 ③電柱 | |

認知症は『自分ごと』の時代へ！

認知症は誰にでも発症する可能性のある病気。1人ひとりが認知症に関する正しい知識や正しい理解を深め、「否定的なイメージから自分ごととしてとらえ、新しい認知症観へ変換」し、認知症の方やその家族が希望を持って暮らし続けられるよう相互に支え合うことが大切です。



Before

これまでの考え方

認知症が進行し、危機的な状況になって入院や施設へ入所する

- 認知症の人は何もわからない人
- 何もできなくなる、わからなくなる
- おかしな言動で周りが困る
- 自分は認知症になることはない
- 認知症の人は自分の思いを表現することは難しい
- 周囲が決め、本人は支援される側
- 認知症は恥ずかしい、隠す
- 地域で暮せない



After

これからの考え方

初期段階で早期診断・対応を行い、自宅での生活をできるだけ長く送れるように！

- わがこと（自分ごと）、向き合う、備える
- わかること、できることがたくさんある
- 本人は困っている、本人なりの意味がある
- 本人が決める（決められるような支援）、本人は支え手でもある
「ともに」支え合う
- 認知症になっても自分らしく
- 地域の一員として暮らし、活躍する

何も分からなくなったり、何もできなくなるわけではなく、新しいことだって挑戦できるし、新しいことだって覚えられます。



支えられる一方になるわけではなく、家族や地域のために役に立てることだってあるんだよな。

ううむ...

